

臨港道路廿日市草津線4車線化の事業目的

臨港道路廿日市草津線は、延長約2.9kmの4車線道路であり、広島湾岸を結ぶ広島南道路を構成する道路の一部として、広島西部都市圏の都市機能改善や地域発展に寄与し、国際拠点港湾広島港五日市地区と廿日市地区を主とした港湾物流の効率化に重要な役割を有しています。

平成26年3月に広島南道路(広島高速3号線、太田川大橋)が、吉島出入路から商工センター出入路まで開通し、その後、平成27年6月に「廿日市地区」、平成29年4月に「商工センター地区」へと大型ショッピングモールが次々と開業し、年々、本路線を通行する交通量が増加しています。

このような中、平成29年2月19日、本路線のうち新八幡川橋を含む約1.6kmの区間が4車線化供用し、ある程度の交通渋滞が緩和されました。

しかしながら、五日市港周辺には多くの港湾関連企業や大型物流施設が建設され、将来的にも分譲予定地への企業立地等に伴い、本路線を通行する交通量が大幅に増加し、更なる交通混雑の悪化が懸念されています。これらの交通量の増大に対応し、広域的な港湾物流の効率化等を確保するため、広島はつかいち大橋を含む約1.3kmの区間の4車線化に取り組むこととしています。

■五日市地区港湾整備事業



臨港道路廿日市草津線4車線化の全体事業概要

事業主体	広島県	
事業内容	工事延長	2.9km(新八幡川橋北・南交差点～広島はつかいち大橋西詰交差点西)
	道路規格	第4種第1級(設計速度60km/時)
事業計画	平成11年 9月	廿日市地区(II期)分譲開始
	平成13年 8月	広島はつかいち大橋供用(暫定2車線)
	平成16年 11月	五日市地区分譲開始
	平成24年 3月	五日市地区耐震強化岸壁完成
	平成24年度	4車線化事業Ⅰ期事業化 L=1.6km(新八幡川橋:L=0.3km、平面部:L=1.3km)
	平成28年度	4車線化事業Ⅱ期事業化 L=1.3km(広島はつかいち大橋:L=0.8km、平面部:L=0.5km)
平成29年 2月	4車線化事業Ⅰ期供用	

臨港道路廿日市草津線4車線化の位置図

「広島南道路」は、交通渋滞の緩和や安全性・利便性の向上、広島市と周辺地域の連携の強化など、広島都市圏のさらなる発展に欠かせないネットワークとして、一日も早い完成が望まれています。



国際拠点港湾 広島港 臨港道路廿日市草津線4車線化事業



計画図



〈凡例〉
 整備区間
 供用区間

臨港道路廿日市草津線整備事業(4車線化)

L=2.9km

Ⅱ期
 L=1.3km

Ⅰ期
 L=1.6km

H29.2.19開通



廿日市地区



五日市地区

